

地域中核・特色ある研究大学の振興に係る事業設計委員会 第2回 概要

日時

令和5年2月10日（金）13：00～15：00

場所

文部科学省 15階 科学技術・学術政策局会議室1及びWeb会議

議題

1. 第1回事業設計委員会等の主なコメントについて
2. 「地域中核・特色ある研究大学の産学官連携・共同研究の施設整備事業」について
3. 「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」について
4. その他

主な発言

2. 「地域中核・特色ある研究大学の産学官連携・共同研究の施設整備事業」について
 - ・ 地域中核・特色ある研究大学の振興は、日本全体の経済の活性化を牽引していくような大学が選ばれるべきであり、その目的が達成できるようにしてほしい。
 - ・ 本事業の目的として「研究力の向上」を支援することを説明する際に、狭義の「研究力の向上」を支援するのではなく、強みや特色ある研究大学としての成長等を支援することを示すべき。
 - ・ 事業のタイトルに「産学官連携・共同研究の施設整備」とあるが、申請者が誤解しないよう、公募要領上で、早めに施設の定義を記載してほしい。
 - ・ 10年後の大学ビジョンを達成するために必要な施設の整備を支援することを明示すべき。
 - ・ 本事業では、トップサイエンスを目指す大学が本事業の申請条件を満たさないように見えることから、基金との関係を踏まえて、本事業の趣旨としてスタートアップ創出支援や産学官連携の促進の意図があることを明らかにすべき。
 - ・ 本事業で支援する施設は、研究施設的なイメージを持たれやすいが、経営力の向上に係る仕組み作りに寄与する施設が弾かれないにほしい。
 - ・ 本事業で整備する施設の要件として経済的効果が見込まれることを強調しすぎているように見えるので、説明ぶりに注意してほしい。
 - ・ 連携することが目的でなく、提案大学の研究力の向上のために連携が必要であることから、連携の意義について発信しつつ、良い提案を求められるようにすべき。
 - ・ 提案大学として、強みや特色ある研究拠点等を有していることが採択の指標となることを明確にすべき。
3. 「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」について
 - ・ 国際卓越研究大学か、地域中核・特色ある研究大学の促進事業にどちらに出すか検討しているような大学だけ採択すると、本事業で採択する25件が金太郎飴のようになりかねないので、提案大学の目指す方向性の違いを考慮して審査・採択してほしい。

- ・ 単独での申請を許容することを踏まえて、連携ありきでなく、申請者に連携の必要性をしっかりと説明させることが必要。
- ・ 強みや特色ある研究大学の国際競争力を高めていくという観点から、海外大学とのマッチングファンド等により、海外大学と密接な連携を図るような提案大学の提案も評価できるようにすべき。
- ・ 基金が5年で終わらず10年続けられるよう、事業の運営方法をしっかりと定めていくことが重要であり、事業としてのKPIと、その実現のための方策を示していくことが必要。専門家を集めて事業の状況を分析し、文部科学行政にフィードバックできるよう、こういった仕組みを事業の運用にビルドインすべきではないか。
- ・ 大学から自主的にKPIを提案してもらうことは重要であるものの、目標とそれを達成するための手段について、国と提案大学との対話を通じて設定していくことも必要ではないか。
- ・ 本事業以外の他府省庁の大学支援施策（内閣府の地方大学・地域産業創生交付金など）については、本事業との連携により地域中核・特色ある研究大学の振興に大きく寄与する可能性があることから、他府省庁の施策との連携について政策的に検討していくことが必要。
- ・ 地域の中核的な大学は、次の国土像を描くうえで欠かせない存在であることから、他府省庁にも、本事業を発信して、相互に組み合わせる形になれると良い。

配布資料

1. 第1回事業設計委員会等の主なコメントについて
2. 「地域中核・特色ある研究大学の産学官連携・共同研究の施設整備事業」について
3. 「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」について